

KAMINOSEKI

花咲く海の町 上関町

室津・上関 歴史観光マップ

交通のご案内



- 山陽自動車道
熊毛IC・玖珂ICー上関 50分
- バス
 - 防長バス
JR山陽本線柳井駅ー上関 60分
 - 町営バス
上関ー蒲井（白井田・室津経由） 1日3便
室津ー大津 1日3便
上関ー四代（蒲井経由） 1日3便

- 定期船航路.....
 - 柳井港ー上関（室津経由） 35分
 - 室津ー祝島（上関・蒲井・四代経由） 40分
室津発 6:10 10:00 16:15 の3便
祝島発 6:45 12:30 17:05 の3便
 - 室津ー八島（上関経由） 35分
室津発 6:15 10:00 16:30 の3便
八島発 6:55 13:00 17:10 の3便

【お問い合わせ】

上関町観光協会 ☎(0820)62-1093
 上関町役場総合企画課 ☎(0820)62-0316
 上関町教育委員会 ☎(0820)62-0069
 上関町郷土史学習館 ☎(0820)62-6040
 上関町HPアドレス http://www.d2.dion.ne.jp/~k_yakuba/
 上関町携帯電話版
 HPアドレス http://www.d2.dion.ne.jp/~k_yakuba/index.html

上関町の歴史

時代	西暦	和暦	できごと
奈良	736	天平8	新羅の使節が祝島沖を航行し和歌を詠む（「万葉集」）
	857	天安元	竈八幡宮ができる
	886	仁和2	伊美別宮社（大分県国見町）の社人が祝島に避難する（神舞の起源）
平安	1090	寛治4	八島と竈戸間が上賀茂神社の社領となる
	1185	文治元	平氏が都を追われ源氏方と戦いながら瀬戸内を西に下る（源平周防国合戦）
	1307	徳治2	北条家一門の金沢氏が上関を所領とする
	1352	文和元	賀茂神社ができる
鎌倉	1389	康応元	足利義満、三田尻で内義弘に会い、帰路上関に立ち寄る
	1443	嘉吉3	李氏朝鮮の学者申叔舟が使節として日本に滞在、後に『海東諸国記』を著す
	1445	文安2	上関薬師丸が東大寺へ納米を積んで兵庫に入港
	1467	応仁元	上関太守蒲刈源義就が朝鮮に使いを送る
室町	1551	天文20	大島衆（宇賀島衆）乗る陶氏の廻船が上関城を銃撃して通過
	1555	弘治元	厳島の戦いで戦死した村上衆が弔われる（六人塚）
	1568	永禄11	能島村上氏の村上武吉が上関城に居住する
	1586	天正14	宣教師ルイス・フロイス、上関のキリシタン女性と対面する
安土桃山	1594	文禄3	豊臣秀吉が上関超専寺に立ち寄る
	1596	慶長元	文禄の役講和のための朝鮮使節一行が上関に寄港する
	1604	慶長9	浦景継が上関に移り住み上関での神明祭が始まる
	1607	慶長12	朝鮮通信使一行が上関に寄港（以後1764年まで計11回の使節団が寄港）
江戸	1632	寛永9	四代に番所建設
	1650	慶安3	防長両国が18宰判に分かれ、上関・祝島・八島・室津は上関宰判に属する
	17世紀後半		北前船の寄港が盛んになる
	1711	正徳元	琉球使が上関に寄港する 四代の番所が上関に移る
戸	1813	文化10	上関に越前会所が設置される
	1826	文政9	シーボルトが上関に立ち寄る
	1844-48	弘化年間	上関海峡に砲台が築かれる
	1853	嘉永6	吉田松陰が長崎行き途中室津に立ち寄る
明治・大正・昭和	1863	文久3	七卿落ちの際五卿が室津の肥後屋を宿とする
	1864	元治元	義勇隊が西方寺に駐屯する 義勇隊隊員高橋利兵衛ら3名が田布施町別府沖に停泊する 薩摩船を焼き討ち（加徳丸焼討ち事件）
	1865	慶応元	坂本龍馬が山口へ向かう途中上関に立ち寄る
	1866	慶応2	第二奇兵隊の脱走者が上関で捕まる 高杉晋作が丙寅丸で室津に入港し、林半七と密談する（四境戦争）
明治・大正・昭和	1873	明治6	蒸気船オテント丸が萩ー大阪間の定期航海を開始、室津に入港する 室津村・上関村連合で上関の御茶屋付御長屋で小学校を開校（首席教員長尾文謙）
	1879	明治12	小方謙九郎が四階楼を建てる（棟梁は吉崎治兵衛）
	1884	明治17	室津が大阪商船の定期航路の寄港地となる
	1888	明治21	熊毛郡内でのハワイ移民の公募が始まる
明治・大正・昭和	1889	明治22	市町村制実施により上関村（長島・祝島・八島）と室津村が成立する
	1909	明治42	町内では初めて八島に灯台が設置される
	1958	昭和33	上関村と室津村が合併し上関町ができる
	1969	昭和44	上関大橋が開通する

9 小泉家



小泉家に現存している古文書によると「小泉家の祖は泉大官といい、天文年間朝鮮半島から出雲に渡来。毛利元就の急病を治し、その恩

賞として安芸の国吉田に居を与えられ、毛利家出入りの医者となる。三代小泉宗古の代に仕官を辞し上関に定居。名医として萩藩より優遇され、上関御用医師を継承していく」とあります。

9代玄碩は朝鮮通信使が来航した当時の様子を『信使来朝日記』に書き残しています

10 明関寺跡（旧上関小学校）

旧上関小学校敷地内に明関寺というお寺がありました。この寺は、江戸時代の朝鮮通信使来航の際、通信使や幕府との取り持ち役・護衛という重要な役を任された対馬藩主の接待・宿泊

のための建物として使用されていました。

明治3年、「廃仏毀釈」という国策により、柳井市阿月の巖休寺に合併されました。正門（桜門）に通じる石段や学校を取り巻く高い石段が当時の面影を今に伝えています。



11 竈八幡宮



旧上関小学校の上、集落を一望に見渡せる高台にあります。社伝によると、大昔日見の木という所（惣津から登った山頂）に祓戸神を祭り早戸大神と呼ばれていました。神亀年

中（724～728）、長門国二宮が神託で筑前香椎宮から気長足姫尊を勧請しました。その由来の霊異なことを聞いて、857年（天安元）に香椎宮の分霊を奉祀し、それより竈八幡宮と称するようになりました。

町内最古の神社であり、10月15日に近い日曜日に行われる例祭では神輿と山車が道中を練り歩きます。

12 超専寺



本尊は阿弥陀如来、山号を踊堂山といいます。山号の由来は『寺社由来』によると、文禄の役（1592～3）に豊臣秀吉が肥前国名護屋へ向か途中上関に上陸した際、墓地のある小高い山に案内し、この場所を踊堂と説明したところ、「常盆や石仏らも踊堂」と詠ん

だので踊堂山と名づけたといひます。

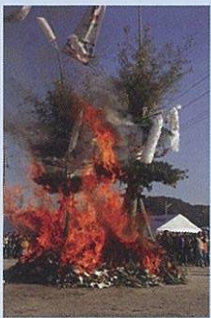
超専寺にはシーボルト紀行文や朝鮮通信使船上関来航図など貴重な資料が残されていて、朝鮮通信使一行が上関に寄港した際には萩藩主名代の宿になりました。また石段を登ったところにある山門は御茶屋にあった副門「さるとり門」が移設されて残っているものです。

13 上関城跡（現・城山歴史公園）



中世の村上水軍にかかわる山城で、城山（海城）の山頂部に位置します。村上水軍は、南北朝から戦国時代にかけての瀬戸内水軍の一つで、能島・来島、因島の三家より成り、三島村上氏と呼ばれていました。1568年（永禄11）の毛利氏の九州攻めにあたり、能島村上武吉が上関に在城し、また1574年（天正2）の『佐甲家文書』で、能





◀上関神明祭

豊臣秀吉の朝鮮侵略の際、先軍として朝鮮に渡った小早川隆景が戦勝祈願のため御神体を作らせ軍神を祭り祈願したのが始まりとされます。小早川家の重臣浦家8代当主、浦景継は1604年（慶長9）、上関に知行地2500石（長島・八島・祝島・佐合島・牛島・大島郡三蒲地区）を賜り、上関に住居を移した。上関神明祭はこの頃より毎年行われ、約400年の伝統を誇ります。



▲朝鮮通信使船上関来航図1821年
通信使にかかわった超専寺に伝わるこの絵図では、6隻の通信使船と萩藩の警護船が中央に描かれ左上部に高官の宿舍となった「御茶屋」、左中央に「唐人橋」、中央上部に「旧上関番所」が描かれています。



▲常満寺大イチョウ（県指定天然記念物）
常満寺の本堂の前にあり雌樹です。高さ約30m、根元の周囲約10m、目通りの幹周りが約6mあります。

▼朝鮮通信使

朝鮮通信使は朝鮮王朝が日本の江戸幕府に派遣した友好使節で、「通信」とは「信（よしみ）を通わせる」という意味です。通信使の派遣は將軍の代替わりなどの時に行われ1607年（慶長12）から1811年（文化8）までの200年間で計12回行なわれました。約500人程度の大使節団には正使・副使・従事官・軍官・通訳・水夫の他に第一級の学者・医者・画家・楽隊など多彩な文化人も加わっていました。通信使の接待場所に指定されたところでは、各藩とも藩の威信をかけてもてなし、各宿泊地では日本の儒学者などと盛んに文化交流が行なわれました。



室津・上関イラストマップ



▼上之関御茶屋仕構之図1748年



岩国藩士長谷川十右衛門作製。通信使の接待をするため、部屋の割り振りや備品の配置など準備を細かく指示するために作成されました。旧上関番所に複製を展示しています。

栗屋家看板▶

幕末から明治にかけて廻船問屋を営んでいた栗屋家には当時の看板（写真右）や商品の仕入れなどを記録した「大福帖」などが保存されています。



▲木造扁額『巨壑山』（町指定文化財）

1711年の第八回朝鮮通信使一行が上関に立ち寄った際、写字官李寿長が揮毫した墨跡を扁額にしたものです。「巨壑」とは通信使の案内役だった対馬藩主の宿泊所・明関寺の山号で、裏側に彫られた文面から扁額に仕立てた経緯が判ります。現在郷土史学習館に展示されています。

越荷会所回想画▶

越荷会所とは萩藩の本会計とは別に設立された特別会計機関である「撫育方」の出先機関をいいます。



◀四階楼雲龍

四階楼外壁の四階四隅に阿吽の龍が2対施されています。古い写真を参考にして鍍絵職人が復元したもので、水を司るといわれる雲龍には火難除けの願いが込められています。



旧上関小学校 1879年▶

四階楼と同じ年に建てられた六角堂屋根を持つ洋風建築です。



◀西方寺に残る刀傷跡



義勇軍や室津鴻城軍の駐屯地であった室津西方寺本堂の柱に残る刀傷跡。